

Weekly Report

2026.05.21
No. 3172

ROTARY CLUB OF MOKA

2025～2026年度 国際ロータリー第2550地区 真岡ロータリークラブ

ID13862 真岡

Rotary



UNITE
FOR
GOOD

よいことのために手を取りあおう

真岡ロータリークラブ 柳田尚宏 会長メッセージ「原点回帰！」

- 本日のプログラム 炉辺会合報告 クラブ協議会
- 司会 副 SAA 安田 政昭 君
- 点鐘 柳田 尚宏 君
- ロータリーソング 我らの生業
- ゲスト 斗六ロータリークラブ モリス 会長エレクト様
キヤド 直前会長様

■会長挨拶 会長 柳田 尚宏 君

本日はご多忙の中、お集まりいただき誠にありがとうございます。今日のゲストを紹介いたします。台湾斗六ロータリークラブ次年度会長モリス様、そして直前会長のキヤド様をお迎えしております。遠方からお越しいただき、心より歓迎申し上げます。

長年にわたり友情と信頼を築き、交流を重ねてまいりました。このように直接お会いし、親睦を深められることを大変嬉しく思っております。国や言葉は異なりますが、奉仕という共通の理念で繋がっていることが、ロータリーの素晴らしさだと改めて感じます。

本日の例会がさらなる友情の深化や今後の交流につながる有意義な時間となることを願っております。¥r

先日開催された炉辺会について、ABC 各班の座長から報告をいただく予定です。それぞれの班でクラブの課題について多様な意見や考えが出されることでしょう。経験や思考は異なるかもしれませんが、だからこそ多くの意見

を出し合うことに意味があります。それが私たちのロータリークラブの活動につながると感じております。

本年度のテーマは「原点回帰」です。クラブの在り方を見つめ直し、より良いクラブづくりにつながるよう、本日の報告が有意義なものになることを期待しております。会員の皆様もぜひ積極的にご意見をお寄せいただき、また新たな入会者の皆様とも交流を深めていただければと思います。本日もどうぞよろしくお願いたします。



■ご挨拶 斗六ロータリークラブ モリス会長エレクト様 キヤド直前会長様

お招きいただき、心より感謝申し上げます。私たちの交流は容易ではなく、2000 キロ以上離れた場所にあります。私たちが結びつきは変わりませんが、

MAKE UP 会場案内

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
宇都宮 90 : 東武ホテルグランデ 小山中央 : 思水荘 真岡西 : フォーシーズン静風	宇都宮 : 東武ホテルグランデ 宇都宮東 : ホテルニューイタヤ 小山南 : 小山グランドホテル	益子 : 益子カントリー 下野上三川 : 石橋商工会館 小山北 : 和風ダイニング彩華	宇都宮西 : 東武ホテルグランデ 宇都宮北 : ベルビィ宇都宮 小山 : 小山グランドホテル	小山東 : 小山グランドホテル

会長:柳田 尚宏 幹事:坂本 光 会報委員:平石典嗣 中島弘司 市村滋朗 相場一宏

事務局:〒321-4305 栃木県真岡市荒町 1203(真岡商工会館内) TEL.0285-84-2511 FAX.0285-84-2510

URL:<http://rc-moka.jp/> E-mail:rc-moka@sweet.ocn.ne.jp

岡ロータリークラブの皆様が遠路はるばる斗六に公式訪問してくださいました。その際のご苦勞に感謝し、私たちの関係はさらに深まりました。この経験こそが、両者の絆が常に強まっている証です。

現在、柳田会長のもとで、クラブはますます発展しています。今年の7月1日には渡辺新会長と共に新たな体制がスタートします。そして、両クラブは素晴らしい歴史を刻んでいきたいと考えています。両クラブが共に築いてきた深い歴史を背景に、今後も総合理解を進め、共に成長していければと願っています。

最後になりますが、この場を借りて、柳田会長のご尽力と貢献に感謝いたします。また、渡辺次会長のご活躍を心より祝福申し上げます。会員の皆様のご発展をお祈りし、挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。



■ 炉辺会合報告

Aグループ 市村 滋朗君

今年度を振り返る声では、自由で活発な雰囲気が出たことが多く聞かれ、委員会活動や運営においても各委員長が主体性を持って進めたことが強調されました。女性会員の参加が新しい時代の一步となったという意見もあり、多様性を受け入れたクラブ運営の重要性が共有されました。

次年度に向けては、会長幹事が理念を大切にしたい運営を進めるとともに、SNSやデジタル技術の活用により、魅力あるロータリーを発信する必要性も強調されました。

Bグループ 沼田 雄一君

女性会員の入会については、新たな風が吹き込んだとの意見があり、例会の回数が月3回に減ったことで参加しやすくなったとの声もありました。会員減少については、定着の工夫が必要との意見も挙がりました。広報活動や例会の質向上も課題で、コミュニケーションを深める機会が必要とされました。次年度に向けては、会員増強のため、魅力的なクラブづくりを重視すべきとの意見がありました。

Cグループ 成瀬 美奈子君

例会数の減少で負担が軽くなったことや、女性会員の参加がもたらした良い雰囲気も報告されました。次年度に向けては、出席確認の方法を見直す提案や新入会員を増やす方策について意見が交わされました。コミュニケーションを深めるための活動が求められました。

Dグループ 高波 眞吾君

今年度を振り返り、楽しさと充実感のある1年だったという意見が出ました。新たなスポーツ大会への関与がやりがいとなり、例会数の減少が参加意欲を高めたとの声も上がりました。一方、委員会活動の活性化や予算の自由度に関する課題も共有されました。次年度は質の高い例会を維持しつつ、地域連携や広報活動を強化することが期待されています。



